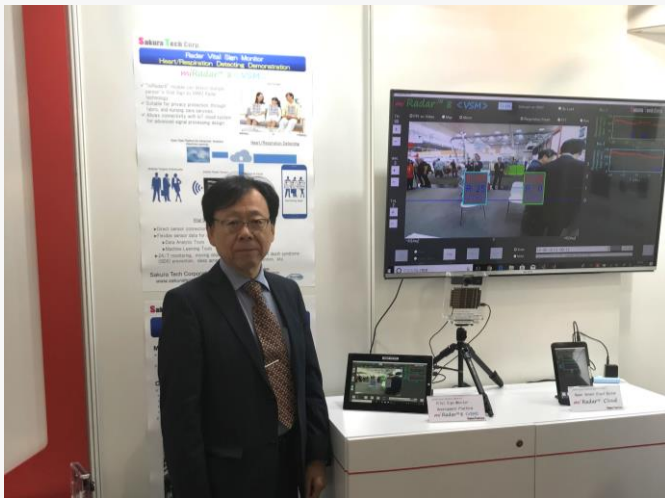


出展者の声：サクラテック株式会社
海外の展示会出展の狙いとは？



サクラテック株式会社
代表取締役
酒井文則 様
(聞き手：ドイツメッセ日本代表部 竹生)

以下敬称略

竹生

今回の CEBIT 出展に当たり、現在のお立場と果たされた役割についてお聞かせください。

酒井

サクラテックの代表取締役をしています。

竹生

今回の CEBIT 出展以前に業務上でどんな課題を感じていたのでしょうか。

酒井

世界で登録商標を取得した miRadar™ 8 という小型のレーダーセンサーモジュールを 1 年半ほど前から販売していました。このレーダーは、従来の品と比較すると目標の方位を正確に検出可能な新しい技術を取り入れています。また、超薄型で低消費電力なので多くのアプリケーションに採用でき、評価キットを国内市場で 80 台ほど販売したが受注ペースが伸び悩んでおりました。

世界なら国内の 10 倍ぐらいは売れると思い、世界的な展示会に出展したいと思っていました。

竹生

CEBIT を知ったきっかけはどこにありましたでしょうか。

酒井

輸出大国コンソーシアムからの紹介に加え、ジェトロのホームページで拝見しました。

前から海外の展示会について知りたいと思っていたのです。

実はCESにも出展を申し込んでいましたが、創業3年目ぐらいのベンチャー企業が対象ということで、創業10年になる弊社は外れて出展できなかったのが、今回CEBITに出展できて良かったと思っています。

竹生

CEBITに出展を申し込むまでにためらったり、障害になったりしたことはあったのでしょうか。

酒井

やはり初めての出展です。

言葉ができる人も少なく、うまく商談が進むかどうか、大変心配していました。

竹生

そうした障害はどうやって解決されましたか。

酒井

2つあります。

1つは弊社の代理店をしてきている会社から海外営業の担当者の支援。

もう1つはジェトロの支援です。

その結果、社内1名とあわせて3人を説明員として配置することができお客様に丁寧にデモをしながら商品の特徴を説明することができました。

出展して得られたメリットとは？

竹生

今回のCEBIT出展の決め手となったことは何でしょうか。

酒井

弊社がアナログ・デバイスと共同開発している複数人の心拍/呼吸を非接触で同時に検出可能な“miRadar™ VSM”が5月の末から6月の初めに完成することが分かっていました。

世界的に先駆けとなる新製品を大規模な海外の展示会であるCEBITで最初におひろめしたいと考えたのです。

竹生

実際に出展してメリットは感じられましたか。

酒井

海外のレーダーに興味を持つお客さんから直接話をうかがい、ニーズについて情報収集ができた点です。

それと、特に心拍/呼吸を非接触で検出するセンサーの需要が多くあることを実感できたメリットはありました。

竹生

最後にCEBITに出展しようと考えている日本の方々へメッセージをいただけますか。

酒井

海外の展示会出展はハードルが高いように感じられるかもしれませんが、ジェットロのブース内であれば、いろいろなサポートを受けられます。

私としてはジェットロの支援がありハードルはそれほど高くないと感じましたので、ぜひ出展してみたいかがでしょうか。

竹生

ありがとうございました。